

銀色の道

夢叶うまで挑戦

学志舎 塾長 山田勝登



Vol. 13 のトピックス

- ◇ ボーリング大会
- ◇ 検定試験
- ◇ 父母の会
- ◇ コーチング初級講座
- ◇ 冬プロ 2009
- ◇ 保護者懇談会
- ◇ 中3生の変更点
- ◇ 編集後記

みなさんこんにちは。今日は12月×日です。これから銀色の道 vol. 13 に取り掛かります。これを書き終えて、皆さんの手元に届けることが出来るのは、さて何日後になりますか？

前回の最初に書きました次男が誕生日にもらった「カブトムシ」、なんと先月、11月の2日まで生きていました。実に4ヶ月という長寿でした。長寿の原因を考えるに餌？いやいや何がよかったって、きっと次男が一切さわらなっただことだと思っています。

すなわちノンストレス。夜行性のカブトムシです、昼間触り続けられ、睡眠不足になるし、いらぬおせっかいでもう止めてくれと！と言葉には出せないけど、きっと心の中では叫んでいるのではないかと思います。人間も昆虫も同じですよ。長寿の秘訣はストレスの無い生活、またはいかにうまく発散させるか・・・ですかね。

さて、ショックなニュースが飛び込んできました。11月に「冬プロのお知らせ」と共に、私からのメッセージを保護者の皆様にお届けしました。それに関連するようなニュースです。このせわしない師走に私にとっては明るくないニュースでした。編集後記に書く予定です。

それでは今回も元気に
「銀色の道 vol. 13」の発進です！

2月になんでこんな書き出し？？？
そのわけは最後に・・・。

◆ボーリング大会◆

今回は25のペアが参加してくれた。



半数は親子ペア。ルールは1ゲーム目は個人で、2ゲーム目・3ゲーム目は1投目と2投目を投げる人が入れ替わる、都合ペアで4G トータルで競う。

今回も会場は爆笑に次ぐ爆笑。どうやら日ごろの腕が空回り？

今回よりストライク賞はカードポイントからティッシュペーパーに変更。

新たにスぺア賞にトイレットペーパー。



ストライク賞は予定数量（80個）を上回り、急遽事務長がゲームの途中で追加のティッシュを買いに走った。

スぺア賞のトイレットペーパーはほぼ予想通り。（120個）

トイレットペーパーは一つ一つラッピング。これは卒塾生のNさんがほとんど一人でやってくれた。



Nさんと富田高校3年S君

それでは大会の様子を一部写真でご覧下さい。



やったぜ、ストライク！

長良中1年H君。お父さん、妹のAちゃんも参戦してくれました。お母さんは応援です？



ペアマッチです。友人の応援にも力が入る
長良中1年T君。



調子はもう一つかな、加納中1年H君、妹
の梅林小6年Nさん。何やらお母さんと後
半への秘策を練る??



このスコアー、BB 賞狙いの二人です。↓



青山中1年、Kさん、Tさん。



この笑顔、絶好調なのか絶不調なのかわかり
ません。岐阜小5年H君。



お父さんお母さん、にこやかに応援です

それでは結果発表です。

B.B 賞

《賞品》 山田農園直送ミカン 10kg
伊奈波中 2年D君&I 君



ちなみに山田農園は愛媛県西宇和青果農協の天皇賞受賞のマルマという全国屈指のブランドのミカンです。現在マルマの共選長は・・・私の兄がやっております。

7位

《賞品》 米千代さんお米券
付属中 2年 Sさん姉妹ペア



お父さんお母さんの応援の成果？

3位

《賞品》 鳥辰さんお食事券
伊奈波中学 3年
K君&M君ペア



蓑島君、昨年はお父さんと優勝しています。

2位

《賞品》 山田農園ミカン 15キロ箱
岐阜高校 2年
Tさん&うちの娘のペア



実は前回、スコア的には私と次女が優勝、2位が長男と友人ペアで、この2ペアを削除しましたが、ま、長女にはミカンなしということで、今年はいいいしょう。

優勝

《賞品》東京ディズニーランドペアご招待
 聖徳学園小学校4年
 U君お父さんペア



最初はお母さん、途中で仕事を終えて駆けつけたお父さんとタッチ。見事に3人でつかんだ栄えある優勝でした。

というわけで、汗と涙と？大笑いの第3回ボーリング大会でした。また来年！

◆秋の検定試験◆

この秋も検定試験に多くの生徒、そして保護者の方がチャレンジしてくれました。いつも言うのですが、検定試験は、出来そうな級から始めればいいんです。いきなり難しい級に挑戦しなくていいですよ。一步一步階段を登ればいいのです。私も漢検を最初3級から始めました。そして2級、3年前に準1級。(あ、また誰かに塾長1級は受けんの？と言われそう…笑)

さて結果発表をしましょう。

漢検合格者(敬称略)

K. K(青山中3年 Y君のお父さん)
 Y. M(各務原西高1年 S君 青山中1年Rさんのお母さん)
 Y. H(伊奈波中3年 T君 岐阜小5年T君のお母さん)

伊奈波中3年 H. T
 F. Y
 M. K
 島中3年 K. S
 長良中3年 I. J
 付属中2年 S. Y
 梅林中2年 H. T
 東長良中2年 K. K
 長良中1年 O. Y
 長良東小6年 H. H
 岐阜小5年 H. T

数検合格者

伊奈波中3年 M. K
 長良中3年 O. C
 東長良中2年 O. M

歴史検定合格者

島中3年 K.
 青山中3年 T. A

英検合格者

岐阜東高2年 K. K
 伊奈波中3年 K. J
 Y. H
 島中3年 K. S
 鶯谷中3年 F. M
 青山中3年 K. Y
 T. A
 付属中2年 S. Y
 青山中1年 T. K

以上が合格者です。もう少しで合格できた生徒も少なからずいました。

そのわずかな点数・・・ほんのちょっとした最後の詰め・・・次回は必ずリベンジしてくださいね！再チャレンジを待っています。成功とは、成功するまで継続することです。途中で諦めたら、失敗になってしまいます。

では、東長良中2年O. Mさんの合格体験記をどうぞ。



私は今回初めて数検を受けました。数検を受けたきっかけは、5科目の中で一番得意な教科が数学なので、これを結果に表したいと思ったことです。数検で合格するためにテキストを買って、何度も勉強しました。分からないところがでてきたら、教科書や解説を見たりして、試験当日まで自力で一生懸命取り組みました。結果は合格で、とってもうれしかったです。数検に受かったことで、数学に対して前よりも自信が持てるようになったし、数学が前よりも好きになりました。ここから、頑張ればその分だけ結果が出ると分かったので、一斉テストなどでも一生懸命勉強していきます。何か検定試験を取ることで、いろいろ学べるものがあるから、挑戦することは大切だと思いました。3年生では、漢検、英検、そして数検の次の級に挑戦します。

Oさん、ありがとう。来年は3検定合格目指してガンバレ！応援します！

◆教育コーチ検定◆

一昨年、(社)日本青少年育成協会の教育コーチの内容・システムに変更がありました。2年前の秋に準上級コーチに合格した私でしたが、そのままだと中級になってしまう、ということだったのです。新しい準

上級コーチは、それまで別資格だったパパママコーチングのトレーナー資格を含むものでした。

初級・中級・準上級とストレートに合格していた私は、2年前の秋、合格することを疑わずに新・準上級コーチを受験に京都の会場に行きました。

いきなりの2日間の実技試験で・・・完全に打ちのめされました。帰りの電車でのあのなんともいえない重苦しい気持ち。1対1でコーチングをする、それはよいにしても、会場で親さん相手にトレーナーとして、パパママコーチングを開催するということは、全く次元が違いました。

10日後、届いたのは不合格通知。後で知ったのですが、そのとき私を含めて12名の受験者が居ましたが、全員不合格。新・準上級は合格率が20%前後だとか。

それから1年。昨年9月に京都に準上級コーチ養成講座に行き、18日には検定試験、そうリベンジに行ってきました。



上の写真は、私が何をやっているところなのか、不思議

と全く覚えていません。多分この日は自分でもいっぱいいっぱい、精神的に全く余裕が無かったので覚えていないでしょう。笑顔でいるということは、うまくやれたところでしょうか。楽鬼さん(コーチネーム)からいただきました。

以下10月19日(月)の私のブログより。

昨日、最終電車で京都から帰ってきた。
いや、電車が遅れていたの、今日0時過ぎ。教育コーチ準上級&パパ・ママコーチングのトレーナー試験。先月の養成講座のメンバー5人が受験した。土曜日になんとか宿題を済ませ、つけ刃の場立ち練習。自宅では集中できないので、長良の教室に行き一人ぶつぶつしゃべりながらセミナーリードの練習。テキスト1回一通りの練習に2時間かかった。教室で2回通り、夜伊奈波の教室で1回通り。試験の3日前、受験者全員に今回のメイントレーナー楽鬼さんからメールが届いていた。

「素になって受験してください」
5時に起き、事務長に岐阜駅まで送ってもらう。電車の中で、分厚いテキストに再度目を通す。そして9時前に京都御所そばの検定会場のホテルへ。

9時からいきなりのオープニングのリード。最年少の大阪の主婦、華ママ(コーチネーム)さんが手を上げる。よどみなくリードする。
「あ、うまい。内容も自分のオリジナルティが・・・。」

これはまずいな～私の練習したことはテキストの範疇のみの内容である。

頭の中で「今まで作ってきた自分なりの引き出しを一生懸命開けて、なんとかつぎはぎでも格好をつけよう。」

午前中は緊張とあせりで肩に力が。

午後一番楽鬼さんは「現時点で、全員が合格の域に達していません」

そして試験は進む。

楽鬼さん「20分間差し上げます。5人でどうすれば合格出来るか、お互い意見を出し合ってください。」

10分、20分輪になった5人の話はまだ続く。そしてその後楽鬼さんは全員に「あなたに飛び越えたい線があるとします。その線の向こうには何が見えますか？」

みんな席を立てて思い思いの方向を見つめ、想いをめぐらせている。

私は1メートル半くらい先のカーペットの小さな窪みを見た。そして頭の中でそこに線を引き、その先に・・・見えた。

「ではみなさん、その線を飛び越えて下さい！」楽鬼さんの言葉に、みんな思い切り線をめがけてジャンプする。そして席に戻る。開口一番楽鬼さんは私に

「案山子さん（私のコーチネーム）何が見えましたか？」

「笑顔が見えました。生徒と親さんの笑顔が見えました。」

「何を考えましたか？」

「今までは、合格しなければ、失敗してはいけない・・・という思いがありました。矢印が自分の方に向いていたのかもしれませんが。でも私が今日ここへ来たのは、そのためじゃなかったんですよね。周りの

人、縁があった人の幸せを願っています。・・・幸せになります。」

そして順番に発表していった。

肩の力が抜けていくのがわかった。

楽鬼さんのメールがふと頭に浮かぶ。

「素になって受験してください」

変わった。素になっていた。

みんなのリードも変わった。

伝えたいことは何なのか？

それが一人ひとりに伝わっているのか？

私の頭の中にはそれしかなくなっていた。

エンディングの試験。

前日に長良、伊奈波の教室で練習したこととは全く違った事を私はしゃべっていた。私が伝えたいことは二つ。

パパママコーチングセミナーに参加してくれるお父さんお母さんに

「何があっても子供を信頼してもらうこと」

「失敗を恐れずに、というより失敗を重ねて、成功するまでコーチングを続けること」

構成なんて考えなかった。

自然に心の底から湧き上がってきた言葉が口をついて出てきた。そしてメンバー一人ひとりの顔を見た。いや、体温を感じようとしていた。私の言いたいことが伝わっているのだろうか？ 真実は心に届いているのだろうか？

6時過ぎ、8時間に亘ったコーチングの実技試験は終わった。

ものすごい疲労感・・・そして軽い頭痛。
しかし、心の中は思いのほか爽やかだった。
再確認した目的と目標。

打ち上げの店まで皆で歩いていた。

たまたま話をしていた北名古屋市から参加したガマちゃん（コーチネーム）が

「案山子さん、もし私が落ちてても待って下さいよ。」

「？」

「いつか一緒にセミナーを開けるまで。
私が開くときは、サブトレーナーで手伝って下さい。案山子さんが開くときはお手伝いにいきますから」

彼女の教育コーチングにかける熱い思いに心が震えた。

彼女は、一昨年春の S 予備校の、星野監督がこぶしを握って「教育コーチングは S 予備校！」

の CM を見て興味を持ち、この世界に入ってきた幼児教育関係の会社に勤める中 3 の受験生をもつ 2 児の母。2 度目の挑戦。

愛媛は松山から塾に勤める 4 度目の挑戦、ゆうみ（コーチネーム）さん。地元京都の主婦、初挑戦のかずこ（コーチネーム）さん。

大阪の主婦、2 度目の挑戦の華ママさん。全員が全員を受け入れ、承認し、そして目指した準上級コーチ & PM 級トレーナー。

打ち上げの席でかずこさん

「このメンバーで何かやりたいね！」

みんながうなずいた。

今回このメンバーで本当によかった。

そして 10 日後…合格率 25% の狭き門であるこの試験、なんと 5 人が全員合格するといううれしい結果が待っていました。

さて、「コーチング」「教育コーチ」とはいつたいなんでしょう？

もともとはスポーツ界の選手について、優秀な結果を出しているコーチが、選手とどのようなコミュニケーションをとっていたのかを研究し、体系化したものです。それがビジネス界に転用され、1990 年代日本に上陸。さらに教育界に応用されたもののなのです。ですから、有名な企業では、コーチングを取り入れ、社員のヤル気と能力開発に利用しています。またトップの役員の方々の中では、自分専任のコーチを雇って、コーチングをしてもらっている人もいます。

この 2 年間、プロ野球の日本ハムファイターズの梨田監督は、(社) 日本青少年育成協会に依頼して、沖縄キャンプで自軍のコーチ陣に教育コーチの勉強をさせています。すなわち、コーチが選手の能力とヤル気を引き出すメソッドを習得したいとの思いがあったのですね。

私が懇意にさせてもらっている、(社) 日青協コーチング部門の主席研究員、足袋師さん楽鬼さんも勿論行ったそうです。足袋師さんは驚いていました。「さすがにプロのコーチ、飲みこみも早いし、頭が低い」

さて、学志舎では全員に (社) 日青協の

コーチング G1 プログラムを受講させています。そして研修会ではそのおさらいを含めて、コーチングのいろんな話、実技的なものを実施し、スキルを磨きます。



10月30日(日) 本年度第2回教師全体研修会

11月29日には、さらに4名の先生方に、教育コーチ初級の知識編の講座を受講してもらいました。

私が9月の準上級コーチ養成講座に出たときサブトレーナーでお世話になった京都のなみぞうさん(コーチネーム)に、そして、私の同期の北名古屋のガマちゃんにも育真館に来てもらいました。

A級トレーナーのなみぞうさんビックリしていました。何に？うちの教師のコーチングの吸収、実践力に。何せ、セッションでやってることが、まだ見たことがない先のページのことを自然と先取りしているのですから。

確かに私が見ていても、自分の初級のと看より、どうみても優れていました。もちろん最後の筆記試験もらくらく合格。



11月29日(日)教育コーチ初級知識編講座

セッションをする先生たち。手前は事務長とガマちゃん

終わった後、私、事務長、なみぞうさん、ガマちゃんの4人で食事に行きました。その席で、そのことが再度話題になりました。「山田先生の塾の子(学生教師)たちって、すごいですね。私もこれまでいろんな塾の学生教師の教育コーチの研修をやってきましたが、お世辞抜きでめちゃくちゃ優秀ですよ！」そして私が「彼女達って、私の初級をとったときより完全に上を行ってますね。」

「我々は固定観念とか、今までのいろんな情報が頭に入っていて、逆にそれが邪魔することがありますよね。若い子達って、それが無いし柔軟ですよね。今日の子達って、それにプラスしてすごい実践力ですよ。本当にびっくりしました。他の塾の先生が見たら、うらやましがりますよ。」

なみぞうさんにお褒めの言葉をど〜んといたいて、私はニヤニヤしっぱなし。

そして翌月曜日、「で、〇〇さんはどうなりたいの？」さっそく学んだ教育コーチングを実践する若山先生と生徒との会話が聞こえてきました。

隣の空いている席にたまたま座っていた私は、再びニヤニヤ。

教育コーチングは、もちろん一対一で、私と事務長が生徒としますが、普段の何気ない会話の中でもよく使います。

大切なことは、なんでもそうですが、それを続けるということです。

生徒に未来の姿を見てもらうことです。なりたい自分を想像してもらうことです。

どうすればその道を歩めるのか、考えて答えを見つけてもらうことです。

そして実行してもらうことです。

そしてそれに大人は全力で関り、サポートしなければなりません。

もちろん教育コーチングですべての問題が即座に解決できるとは思っていません。しかし、相当有力なツールであることは間違いありません。

以上のような、私が学んできたことを、

「子供の成長を見つめる父母の会」と称し、これまで保護者の皆さんと一緒に勉強してきました。

11月3日夜、いよいよPM級トレーナー(東海4県で現在6名)としての資格を持った私としての初の舞台が訪れました。

◆第9回父母の会◆

11月3日文化の日、長良川スポーツプラザで、研修会を実施しました。

8名のお父さんお母さんと、うちの教師4名、私と事務長の14名で19時にスタート。

以下は11月4日のブログより

昨夜7時から9時まで「父母の会」研修会を実施。今回お知らせで「お伝えしたいことがあります」と書いた。

それに呼応してくれたお父さん、お母さん、改めて感謝を申し上げます。

そして、お子様の幸福を願う一心で参加されたこと、心から敬意を表します。



こんなつたない私の開催する「会」に参加してくれる、それだけで本当に感謝、感謝、感謝、感謝、感謝。

参加してくれるお父さん、お母さんがいるからこそ私は勉強しないといけない。

だからこそ進化出来る。

参加してくれるお父さんお母さんに、私は育ててもらっている。



私が伝えたいこと、みんなに伝わったのだろうか。自分の中では次回への課題がいくつか残った。

最後に今月生徒に見てもらう「心の授業」のムービーを一足先に見てもらった。今の正直な気持ち・・・感謝と

「参加して本当によかった」と思ってもらえるもっともっと良い「会」にしたい。その2つかな。

以上ブログより

それでは参加していただいたお父さんからいただいた感想を読んでください。

本日は有意義な研修会に参加させていただき、ありがとうございました。子ども

はいつまでたっても子どもという言葉通り「育てなきゃ」という気持ちが傲慢であることを知りました。すぐに切り替わることは、自身難しいことかもしれませんが、意識しようと思います。

テストでよい点を取りたいと考えているのは、子どもの方が強く、親が思うより強く想っているはず。育ちたいと自立し始めているならなおのこと親が「邪魔するもの」であってはいけないと。

今日は研修開始より、振り返ると自分の間違いに気づきました。（「間違っている親はいません」といっていただきましたが・・・）

子どもも中学生で、いわゆる多感世代の入り口だと想います。今は学校のことや興味のあることは、色々と話をしてくれます。小さい時からそうです。でも塾長の話を聞いてドキッとしました。このまま“傾聴”を行っていなかったら、投げたボールを取ろうとせず、文句ばかり言ってたら・・・この先親子の関係が冷え込んでしまいます。私自身がセッションを行ったときに感じた「話を聞いてもらえる安心感」や“ボール”を投げ捕球頂いた時の気持ちのよさを子供達が得られるかが課題となりました。研修という場であったからこそ出来ると感じたのかもしれませんが、気を許さないように意識をしています。野口さんのムービーですが、これにも考えさせられました。

強い信頼を子供に向けられるかです。一度二度の約束や決め事を怠った

時、信用をなくすよ、言った事もあります。自分だったらきついな、と改めて感じました。子供だって理由があるはずです。自分が痛い目に合うリスクもあるかもしれませんが、大切なことだと感じました。

子供達が心を開いて話をしてくれる日が、長く続くよう、親の努力も重要です。

本日は夫婦で参加させて頂いたこと、感謝致します。感じたことをそのまま書いてしまい、乱筆で申し訳ありません。

毎回何人かのお父さんが参加してくれませんが、

もっともっと多くのお父さんに参

加してもらえるとありがたいです。

次回もお待ちしております。参加いただきまして、本当にありがとうございました。

◆ 岐阜個別指導塾協会 ◆

勝手に作りました。成り行きから私が「会長」をすることになりました。

昨夏、共同イベント、勉強会などを実施し、塾のクオリティを高めていこう！という思いで、友人3人に声をかけました。

その中の一人が、その友人に「会」の話をしたところ、秋の私立高校説明会の折に、ぜひ仲間に入れて欲しい、塾の協会を正式に作りましょう、と私に申し出てきたのです。

そして年末5人で話し合い「岐阜個別指導塾協会」なるものを立ち上げました。その2本柱は「教育コーチ」の実践と「特定商取引法」の遵守です。

教育コーチはもうお分かりでしょう。

特商法って何？

購入者が受けることのある損害の防止を図ることにより、購入者等の利益を保護し、あわせて商品等の流通及び役務の提供を適正かつ円滑にし、もつて国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする法律、とのことです。

実は塾も特商法が適用されるのです。

これはメンバーから聞いた話です。

塾生の友達が大手のS塾に入会したそうで、そこは月謝の払い込みを半年毎としていたそうです。1ヶ月通塾後、合わないので退塾しました。翌月分は仕方ありませんが、半年分の月謝を前払いすることは、半年契約をしたことになり、4ヶ月分の月謝も塾から返金されないの？

S塾からは何の音沙汰もない。そこで教えてあげたそうです。

「特商法」という言葉を使って返金要求の電話をしてみること。その後、S塾に電話してその魔法の言葉（笑）を出すと、なんと即座に4ヶ月分の月謝が返金されたそうです。

以前、私も他塾のチラシにこんな文言を見たことがあります。「いったん納入した金額はいかなることがあっても返金できませんので、あらかじめご了承ください」

こういうことを書いて、お客様が法律を知らないことをいいことに、言わないと返金しない塾って、子供に何を教えるんでしょうか。

学志舎ですか？今年では中途退塾者が3人いましたが、(残念！)年初にいただいている、学力テスト代は、言われなくても受験しない回数分を、きちんと返金しています。こんなことって、人として当たり前のことだと思うんですが…。

我々は優良個別指導塾として成長しよう！そういう気持ちでこれから活動します。立ち上げから1塾増えて今は6塾ですが、ゆくゆくは20～30塾になればと思っています。

え～学校でもらったPTA新聞2月号の一面の広告欄を見てくださいね。

◆冬プロ 2009◆

12月初めから始まりました。いや中3は11月からでした。その冬プロも終了しました。今回の冬プロでは、様々な宿題を出しました。その中で私が最も重要なものと位置づけていたのが「**ありがとう大作戦**」というものでした。

添付の資料をご覧ください。ご覧のように、親に感謝をしよう、それを形にしてみよう。それが出来なければ「1年間ありがとう」その言葉だけでもいい…そう言って実施しました。

11月の「心の授業」—添付のDVDを全員に見てもらいました。とどめに？中学生には、宿題の一つに感想文、課題図書はそう、五日市剛さんの「**ツキを呼ぶ魔法の言葉**」を課しました。そこまでやって…この宿題を提出できなかった生徒がいたという事実。

非常に残念な思いと同時に、私の力不足を感じました。

本当に申し訳ありません。

私の塾の目的は、HPにも書いてありますように、根底には**2:8の法則**での「上位2割に入る人間の育成」があります。

上位2割に入るためには、勉強だけ出来ればいいというものでもありません。

「心」が大切です。勉強で得た「知識」は人としての「心」によって生かされるのです。そしてその基本は「感謝」と「人に喜んでもらえる人間になる」ということです。

その基本、一番感謝しないといけない相手は、お父さんお母さんだと思っています。全員が参加のこの宿題が完遂できなかったこと…保護者の方には、本当に申し訳ありません。深くお詫び申し上げます。出してくれた生徒の分は、文集として添付していますのでご覧になってください。

来年もう一度トライします。その時は全員が提出してくれるように、私は全力で努力します。

さて、冬プロでは前述以外にも、学年、履修科目によっても違いますが冬プロ4科目テキスト、テキストのテスト、漢字道

場、感想文、Apal、Apal のテスト、P I S A問題と宿題が出ております。そしてそれを計画に盛り込みました。しかし、しかし、しかし、やはりこれも提出できない生徒がいました。合格できない生徒がいました。

6週間という時間がありながら……。今回は、2009年度「十戦十勝への道」最終章の「己に克つ」を実践するときでした。提出期限が終わってもさらに待ちました。

提出できなかった生徒へ

私の指導力不足かもしれない。力不足かもしれない。しかし、言いたい。

みんな2：8の法則の上位2割に本当に入りたいと言ったじゃないか？
先生は本気で言う。しっかり聞いて欲しい。学志舎は本気で2割に入りたい、そのための努力は惜しまない、一生懸命がんばると言う生徒のための塾です。大切なのはいつも言っている様に、自分の素質、責任の範囲をいかに全うできるか、です。「まあ、だいたいでもいいか」そんな生徒が2割には入れると思いますか？

入塾のときの誓約書にも書いてもらってます。

学志舎の生徒としてふさわしくないと判断したときには、退塾してもらおう、と。個別指導の塾と言えど、個々の姿勢で塾の雰囲気がスポイルされます。先生は頑張る

生徒を伸ばしたい、応援したい、そう思っています。しかし……

「過去は変えられない」

だから今までの事は問いません。これからしっかり頑張る！と誓える君ならおおいに歓迎します。

そして私も、教師ももっと君たちになりたい姿に一步でも近づけるように、そんな支援がもっともっとできるように、勉強します。研修会で研鑽します。

だから本気で上位2割に入るアクションを起こそう！

保護者の皆様へ

私は生徒を平等に扱わないといけないと思っています。今まで、宿題をやってこない生徒のために、居残り補習などを実施してきました。何とか頑張つて欲しい。その一心で何時間も、時には夜中遅くまで……。しかし、私の力不足かもしれませんが、やってこない生徒の多くは何度でも繰り返すのです。

これは自分でおかしい、と思うようになりました。同じ授業料を払いながら、なぜ私の時間を、教師に延長料金を、本気でない生徒のために使わないといけないのか？

宣言します。

本気モードでない生徒のための居残り、意味のない補習は今後いたしません。

その代わり、ヤル気のある生徒の「分からない」質問には授業が終わった後でも何時間でも、付き合います。教えます。指導します。

といって、人は神様ではないので、忘れることもあります。だから何度も繰り返す生徒に関しての居残り補習はしない、と言うことと理解してください。

以上、根本は私の態度があいまいなままでこれまでやってきたのが原因かもしれません。しかし私はこの塾をさらに

「学志舎に通う生徒はみなしっかり頑張れるね!」と言われる塾にしたいのです。

皆さんはどう思いますか?

小さい塾ですから知っている人は少ないかもしれませんが、少なくとも皆さんの知り合いの方に「いい塾ですよ。通っている子供達もみんな元気で良い子です!」と胸を張って例外なく言えるようにしたいのです。

前回のこの「銀色の道」にも昨夏、初めて入塾を断ったことを書きました。

塾の経営からすると、空席がある限り、正直言って一人でも生徒は欲しいです。いくらきれいごとを言っても、お金がなくては塾の改善はできません。全国各地へ勉強会にもいけません。新しい教材も導入できません。塾の改装も、教師の教育コーチ受験代も…偽らざる本心です。しかし、それよりも私にとっては、言い方は悪いかもしれませんが、「学志舎」というブランドを確立することの方が大事なのです。

そうすることが、結果、皆様の満足していただける塾になることと確信しています。

勉強は子供達にとって、決して楽しいことではありません。いわば坂道を登るようなものです。途中休憩したとき、下る生徒を少数でも見れば、時としてふっとそれについていきたくなる誘惑にかられるのも否定しません。人間には「楽したい」という気持ちがありますので。…私にもあります。しかし、つらくとも周りの全員が登っていけば、自分だけ下ろうとする人間はほとんどいないでしょう。



その全員がひたむきに登っていく塾としての「ブランド」を確立したいのです。私は決して、成績のいい子だけを集めて、〇〇高校に何人入れました、なんてことを誇る塾にはしたいと思いませんし、少人数制の個別指導塾には、パイが小さすぎて、そんなことはできません。

登る山の高さは問いません。生徒一人ひとりが違うのは当たり前のことです。大切なのはつらい「登る」と言う行為に挑戦す

る気持ちです。

私はその環境作りに全力を傾けます。いろんなイベントも提供します。塾だからやってはいけないということはありません。いや、今までの塾がやってこなかったものこそ、やっていかななくてはならないと思っています。少なくとも皆様のお子様に通っているのです。他の塾と同じ内容の塾では意味がありません。

そしてそれらのものは、子供達の前向きな「心」を育むことができるかどうかの観点に沿ったものが基本です。個別指導塾協会を設立しましたから、同志の他塾との共同イベントも考えています。すでに生徒から、次年度のイベントの提案もあります。どうぞ山田がやってることが、本当にその意に叶っているのかどうか、皆様の目で確かめてください。そして間違っていればどうぞご指摘下さい。

皆様の大切なお子様のために、どうかよろしく願いいたします。お父様方に特にお願いしたいと思っています。

◆保護者懇談会◆

今回も色々話をさせていただきました。うれしいことがありました。事務長と今回の最終の懇談が終わった後

「なんか今までで一番多かった気がしない？」

計算してみました。すると出席率が 90%を

超えていたのです。初めてのことです。

私の全国の友人の何人かに、そのことを話しますと、みなビックリしていました。

自由参加で 90%を超えたということは、すごい！って。

ありがたいことです。

感謝申し上げます！

懇談会の目的は、もちろんお子様のことが話の中心にはなりますが、親御さんとの意思の疎通という意味合いもあります。些細なことと思われることでも、気軽に連絡していただけるような関係作り、それが大切だと思っています。

試験のたびに、全員の成績が上がるわけでもありません。入塾してから全員の成績が上がるわけでもありません。10 人に 1 人は現実には下がっています。他の塾に比べると、下がる生徒が少ない点は絶対に胸を張れます。

しかし全員上がることはありません。我々が生徒に向かうのに、絶対に揺らいではいけないときがあります。それは成績が下がったときです。

ニコッと笑って言います。

「過去は変えられない。でも未来はこれからのやり方次第で変えられる。さあ、これからどうする？」

成績が下がって揺らいでいるのは生徒自身です。我々も本当はショックで揺らいでいます。なぜなら、子供の成績は、我々の成績でもあるのですから。

しかし大人が揺らぐと、子供の揺らぎは

さらに増幅されます。それは次の行動へのエネルギーを確実に奪うものだと思います。

保護者の皆さん、子供のころに帰ってみてください。成績が下がったとき、どのようなお父さんお母さんなら、未来に向かって走り始めやすいですか？



すると、どのような言動がお子様の未来に効果的ですか？

「答」は皆様の中にしっかりとあったのではないのでしょうか？

◆中3生変更点◆

中3生には毎年のように言ってきました。

「高校へ入ったら、最初の宿題試験が大切だ。そしてさらに最初の定期試験が大切だ。なぜなら、例えば、中学時代同じ成績だったA君とB君がいたとして、最初のテストで頑張ったA君は50番だった。入試も終わって春休みをゆっくりと過ごしたB君は250番だった。次のテストでちょっと気を抜いたA君は70番で『しまった頑張らねば』、と思う。ちょっとだけ頑張っ

B君は230番だった。『少しあがったからよしとしよう。』さて大事なのがここの感じ方なのです。

最初に自分がどこのポジションにいるのか？これで大きな差がつきます。

中学と違って、高校はほとんど同じ成績の層が集まってきます。しかし3年後の大学進学するときには埋められない大きな差がつくのはなぜでしょう？

偏差値60の高校では中学時代、58～62くらいの層が集まってきます。横一線です。しかし3年後は前述のようになんともならない差がつきます。

その一番大きな原因は、スタートにあるのです。高校の内容は難易度が中学と全く違います。遅れを取り戻すのは、簡単なことではありません。我々塾人はみな声をそろえて言います。スタートが絶対に大切だ、と。

しかしながら、そのことを生徒に、機会があれば親御さんに言うだけで私は何もしてきませんでした。

これから書くことは12月の名古屋での勉強会で聞いたことです。関西で塾を経営する多田先生が実際に実施していることです。先生は我々に言いました。

中3生のカリキュラムは5月末まで。最初の中間試験の結果を見届けて、中学部の卒塾式をします。スタートが大切なのは誰もがわかっているはずですが、そこを何もせずして責任を持った塾人といえますか？まさにその通りだと思いました。

学志舎も中3生は5月末までとします。しかし、それはもちろん強制ではありません。それまで通塾してくれた御礼もこめて、多田先生のように、4,5月の月謝は半額とします。それ以降の継続割引も、3年生には別紙でお知らせいたします。そして学志舎の新年度の始まりである春休みは無料とします。

特に今回、大学受験の英語の切り札ともいえる『D高速マスター』を春休みは集中してこなしてもらいます。

多田先生はこんなことも言いました。
「受験が終わって『今まで頑張ってきたんだから、子供が一息つくのはいいだろう』と思っている親御さんも少なからずいます。しかし、入試以降の過ごし方で、将来が左右される可能性が大きいことを、その重要性を、先生方は真剣に、親御さんに声を大にして伝えていますか？」

多田先生の塾は、大学実績も年々上向き、この不況下でもどんどん生徒が増えていきます。先生の真摯な姿、言動が生徒、親御さんに支持されているのでしょう。

学志舎の中学部3年生は5月まで。そして高校の部の1年生は6月からにします。

ちなみに入試以降ボーっとして過ごし、高1の夏休み明けの校内模試ではなんと、後ろから数えて18番をとり、そんな状態で2年間なんとなく過ごし、高校3年の受験時に苦労しまくった典型的な例が、今こ

のニュースレターを書いている私です。もちろん希望の大学には入れませんでした。私のような高校生には絶対になってほしくない！！

だから多田先生のように実行します。

◆編集後記◆

本当は最初の1ページ目を、いかにも先週からとりかかったように書き出したかったです。そうですね、例えば「受験も間近にせまってきました。学志舎の受験生は頑張っています！とか。

しかし12月中旬のとある日、一人のお母さんに至誠館で「銀色の道が書き終わったら、自分へのご褒美に、20日の日曜日に名古屋の瑞穂へラグビーを見に行きます。」と言ったのです。ですから「受験も…」なんて書き出したら、そのお母さんに対して嘘をつくことになります。よって恥を忍んで、12月に書いた書き出しのままお届けすることにしました。

これを読んできくと、そのお母さん笑っていることでしょうね。「塾長、長いことかかって、やっと書き終わったんだな」って。ま、書き終えていても、12月20日は仕事が入って、どっちにせよラグビー観戦はできなかったのですが…。

あ～もう何年ラグビー場に入っていないのだろう？現在大学2年の北川君が岩野田中3年時の試合に、瑞穂へ応援に行っ

以来かな？

さて、12月に飛び込んできたショックなニュースとは？

岐阜で個別指導塾の教室を多く手がけていたのは、オーナーの方はどんな方か知りませんが、フランチャイズのM義塾さん。岐阜駅前校を始め、岐阜市近郊で12教室展開していました。チラシを見るたびに、「すごいな〜」と羨望の思い。

ところが、昨年春に「島」と「木曽川」の教室を売却したとの情報が入ってきました。秋には市橋で塾を営む友人から「M義塾の市橋校から生徒が流れてくるようになりました。」どうやら駅前校を除いて生徒が減っているようでした。そしてついに12月「M義塾を経営していたオーナーさんは、10教室とも手放すことになった。教室の買い手が見つからないので、東京のM義塾本部が引き継いで経営することになった」との情報が飛び込んできました。

同じ個別指導の塾…もちろん塾の内容全く違いますが…一時は12教室も展開していたのに、少なからずショックでした。

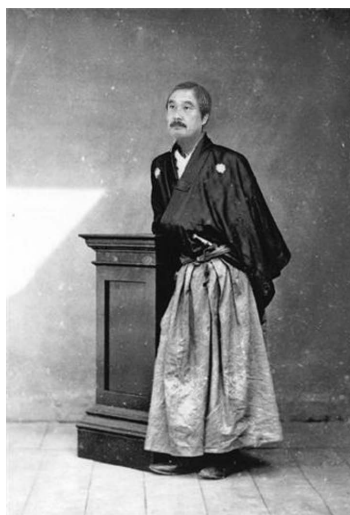
家庭教師派遣会社、最大手のTも売り上げが最盛期の10分の1になり、部長の顔に落書きをしてまで、個別指導塾業界に参入してきました。M義塾同様フランチャイズも募集しています。

そんな中で、学志舎が昨年と同様に、生徒が通塾してくれる現実、本当に感謝する以外にありません。私のやっていることに共鳴してくださることへの感謝しかありません。

私はもっともっと学志舎を皆様に支持される塾にします。そのために、来年度ももっともっと勉強会に参加し、教師研修会ももっともっと密度の濃いものに、塾の内容も、すべてにおいて向上させます。

個別指導塾では、どこにも負けない塾にします。

本当はもっと書かなければ、と思っている内容があるのですが、いつまでたっても配布できないといけなないので、今回はここでいったん切ります。Vol.14は近いうちに、といってまた塾長は2〜3ヶ月かかるんじゃないか、と思われそうですが、必ず来月中にはお届けします！



学志舎の受験生、
おまんらの夜明
けは近いぜよ！
自分を信じて、
突っ走れ！！
最後まで読んで
いただきまして、
ありがとうございました。
塾長 山田勝登